絆
教育目標「気概にあふれ主体的に考え行動する生徒」
～小さな学校の大きな誇り～
花巻市立湯口中学校
校報　Ｎｏ４２
令和８年10月28日
文責：校長（菊池）

若杉祭大成功　「一蓮托生」の姿を示す

シンガク披露　３年生にとって最後の舞。キレのある舞が印象的でした。








総合発表　それぞれの学びを分かりやすく、工夫して発表しました。

【１年生】「私たちの将来を考える」

→福祉学習での学び、遠足での盛岡子ども科学館、岩鋳、盛岡手づくり村での見学・体験、未来パスポートでの社会人講師との交流からの学びを発表






【２年生】「宿泊研修・職場体験について」

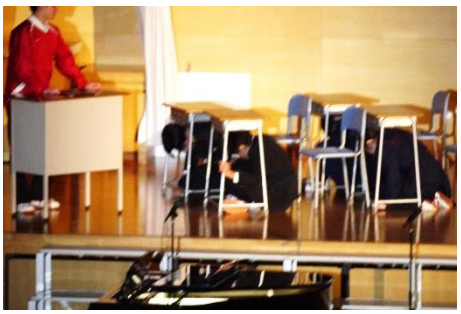
→宿泊研修での防災学習、進路学習をテーマとした県立図書館や自衛隊での学び、２１事業所での職場体験学習を通しての学びを発表





【３年生】「命を救った避難訓練『気仙中学校の奇跡』」

→東日本大震災で被災した気仙中学校の見学からの学びをオリジナルの脚本により劇で表現


吹奏楽発表　コンクールや地域での発表等の場数を踏んでレベルアップした演奏を披露






合　唱　どの歌も気持ちのこもった響きとなっていました。

【１年生】『変わらないもの』　指揮：高野橋恒乃介　　伴奏：平井　結



【２年生】『僕らの奇跡』　指揮：芦澤　希　　伴奏：渡邉晴緋



【３年生】『心の瞳』　指揮：齊藤心咲　　伴奏：藤井俐流羽



【全　校】『点描の唄』　指揮：高橋瑶葵　　伴奏：佐々木うた

『絆』　　指揮：芦澤　希　　伴奏：渡邉晴緋



英語暗唱　Friendship beyond Time and Borders（時と国境を越えた友情）



渡邉晴緋さん

In March 1985, Iran and Iraq were at war. The president of Iraq said, “From March 19, the air above Iran will be a no-fly zone. We will shoot down all planes.” Many countries sent planes to rescue their people in Iran. The planes landed one after another.

At the airport, a lot of Japanese people waited and waited, but no planes came for them. Time was running short. Suddenly two Turkish planes came to rescue them. They took all 215 Japanese out of Iran. Japanese people couldn’t believe it. Why Turkish planes?

More than 130 years ago, a Turkish ship came to Japan on a goodwill mission. However, on the way back to Turkey, the ship met a strong typhoon. It sank off the coast of Wakayama, and 587 people died.

People in a nearby fishing village rescued 69 survivors. They didn’t understand Turkish. They didn’t have enough food. But they gave their last chickens to the survivors. They also buried the dead respectfully.

After that, the survivors stayed in a hospital in Kobe for about a month. Then they left for home on two Japanese ships.

“Turkish people still remember the story. Even children know it. So Turkish planes flew to rescue the Japanese in Iran,” a former ambassador to Japan said.

The friendship between the two countries still continues today. When a big earthquake hit Turkey in 1999, Japanese people went there to help. In 2011, a big earthquake and tsunami hit eastern Japan. This time, Turkish people came to help. We can make a better world by helping each other beyond our borders.

1985 年 3 月、イランとイラクは戦争中でした。イラクの大統領は「3 月 19 日から、イラン上空は飛行禁止区域になる。飛行機はすべて撃ち落とす」と言いました。多くの国が自国民を救出するために飛行機をイランへ送りました。飛行機は次々と着陸しました。

空港では大勢の日本人が待ち続けていましたが、日本のための飛行機は一向に来ませんでした。時間がどんどん過ぎていきました。すると突然、トルコの飛行機が 2 機、日本人を救出するために現れました。彼らは 215 人の日本人全員をイランから連れ出しました。日本人は信じられませんでした。「なぜトルコの飛行機が？」

130 年以上前、トルコの船が親善のために日本を訪れました。しかし帰国の途中、船は強い台風に遭い、和歌山沖で沈没しました。587 人が亡くなりました。

近くの漁村の人々は 69 人の生存者を救助しました。彼らはトルコ語を理解できませんでした。食べ物も十分ではありませんでした。それでも、最後の鶏を生存者に差し出しました。また、亡くなった人々を丁寧に埋葬しました。

その後、生存者たちは約 1 か月間、神戸の病院で過ごしました。そして日本の船 2 隻に乗って帰国しました。

「トルコの人々は今でもこの話を覚えています。子どもたちでさえ知っています。だからトルコの飛行機がイランの日本人を救出しに飛んだのです」と、元駐日大使は語りました。

両国の友情は今も続いています。1999 年にトルコで大地震が起きたとき、日本人が現地へ助けに行きました。2011 年には東日本で大地震と津波が起きました。今度はトルコの人々が日本を助けに来ました。国境を越えて助け合うことで、より良い世界をつくることができます。